

災害看護部門

2022年度の活動報告

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 看護部門長

日本赤十字看護大学 国際・災害看護学 教授

内木 美恵 (ないき みえ)

災害看護部門の目標



1. 日本赤十字の災害看護実践の蓄積をする

- ・過去の災害に関する日赤看護師による活動の資料、報告書进行分析
- ・災害時活動に係った看護師等からのデータ収集（質問紙、インタビュー等）

2. 災害時要配慮者の減災に関する実践と研究を行う

- ・要配慮者が災害時に健康を害することを最小限にするケアが必要
- ・妊産婦及び母親と乳幼児の減災と防災対策（助産師を主に、減災と災害時対応の研修会、ワークショップ等を実施し、研究し、マニュアル作成）

3. 日本赤十字社の国際活動における看護に関する研究を行う

- ・実施部門（日赤本社の国際部、日赤病院の国際拠点病院等）と研究部門（災害救護研究所）が協力し、国際活動における研究の実施

2022年度の研究テーマ

1. 日本赤十字の災害看護実践の蓄積

「東日本大震災における医療救護・支援の実践」 (2件)

2. 災害時要配慮者の減災に関する実践と研究

「災害時の助産師による妊産婦および母子へ支援体制」

3. 日本赤十字社の国際活動における看護に関する研究

「パレスチナの病院における看護師の
フィジカルアセスメントの実践力向上に関するプロセス」

1. 日本赤十字の災害看護実践の蓄積

「東日本大震災における医療救護・支援の実践」

①テーマ「健康生活支援(熊本地震)の経験」

【概要】 2016年熊本地震での日赤看護師による避難所支援の課題

【結果報告】 第58回日本赤十字社医学会総会 (2022年10月) 発表

②テーマ「東日本大震災で被災した石巻赤十字病院の看護における受援に関する文献検討」

【概要】 石巻赤十字病院の支援に関する資料から看護における受援を明らかにすることを目的に、文献検討を行った

【協力組織】 石巻赤十字病院

【結果報告】 第30回 日本災害医学会学術集会 (2023年3月) 発表予定

2. 災害時要配慮者の減災に関する実践と研究

「災害時の助産師による妊産婦および母子へ支援体制」

【概要】

国分寺市をフィールドに、国分寺助産師会のメンバーと共に、助産師による妊産婦と子どもを持つ母親への減災について、実践を行いながら、体制作りを行っている。今年度は、実施は以下である

- ①2016年熊本地震における西原村母子広場の実際（研修会:10月）
- ②開業助産所周辺の高さの確認と避難方法（ワークショップ：11月）
- ③子どもをもつ父親と共に考える分散避難（ワークショップ：2月）

【協力組織】 東京都助産師会国分寺地区分会（国分寺助産師会）

【結果報告】 第30回 日本災害医学会学術集会（2023年3月）発表予定

3. 日本赤十字社の国際活動における看護に関する研究

「パレスチナの病院における看護師の フィジカルアセスメントの実践力向上に関するプロセス」

【概要】

パレスチナの人々を主な患者とするレバノンの病院で、日赤と現地の医師・看護師の連携による学習支援（研究等）を行っている。学習支援を受けた現地看護師のフィジカルアセスメント実践力向上のプロセスを明らかにすることが目的。半構造化インタビューによる質的記述的研究を行う。

【協力組織】 日本赤十字社事業局国際部 パレスチナ赤新月社

【現状】 倫理審査を受け、研究を開始し、データ収集中

3月に中間（研修実施中）インタビューを現地（レバノン）で実施

2023年度の研究



1. 日本赤十字の災害看護（健康危機）実践の蓄積

- ・「東日本大震災における医療救護・支援の実践」 【継続】
- ・「新型コロナウイルス感染症に対する日本赤十字社の
病院における看護活動とその特徴」 【新規】

2. 災害時要配慮者の減災に関する実践と研究

- ・助産師への災害時の妊婦と母子への支援/減災に関する研修会 【継続】
- ・東京都助産師会国分寺地区分会とともに、避難所での助産師による
支援ハンドブックの作成 【新規】

3. 日本赤十字社の国際活動における看護に関する研究

- ・「パレスチナの病院における看護師の
フィジカルアセスメントの実践力向上に関するプロセス」 【継続】

ご清聴、ありがとうございました。

